

●使用方法と注意



- 子どもの手が届かない所に保管し、いたすらをしないよう注意してください。
- 用途以外には使用しないでください。
- 使用するときは、換気をよくしてください。
- 使用中、目やのどに刺激を感じたり気分が悪くなったら、すぐに使用を中止し、症状が回復しない場合は医師の診断を受けてください。

●仕様

品名: スプレーボンド505  
接着剤成分: 酢酸ビニル樹脂  
内容量: 250ml



■発売元

**VC** バイリーン クリエイト株式会社

<http://www.vicre.co.jp/>

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-5 (バイリーンビル)

TEL.03-3258-3364 FAX.03-5209-2126

■輸入元

**vilene** 日本バイリーン株式会社

<http://www.vilene.co.jp/>

■製造元

オディフ社(仏)

■お問い合わせ先

貼って、はがせる仮止め用スプレー

# スプレーボンド 505



シューっと、ひと噴き、  
しつけの手間が省けます!

針や糸がべたつかず、  
キルティングがより快適に!

# 貼って、はがせる仮止め用スプレー スプレーボンド 505

フランス生まれの「スプレーボンド505」は、パッチワークやアップリケのしつけ代わりに使える、便利な仮止めスプレーです。

いったん貼っても貼り直すことができ、しかも針や糸がべたつくこともありません。

世界各国で高い評価を得ている「スプレーボンド505」をぜひご利用ください。

## ●特徴

### ●無臭です

室内で使用してもイヤなおいがないので、快適にパッチワーク作業ができます。ただし、可燃性ガスなので換気を十分に行ってください。

### ●貼り直しOK

スプレー後、15～20分の間であれば貼り直すことができます。位置が悪かったり、貼る場所を変えたいときも安心です。

### ●針や糸のべたつきなし

薄くスプレーするだけで十分な接着力が得られ、ミシンの針や糸がべたつくこともありません。

### ●風合いはそのまま

スプレーしても生地や紙の風合いを損ねたり、色柄が変わることはありません。ご使用の際は、念のため、端布などで試してからご使用ください。

### ●人体に安全な成分

有機溶剤は使用していません。接着成分は人体に安全な樹脂です。

### ●フロンガス不使用

フロンガスを使用していないので、オゾン層に影響することはありません。

### ●霧状に残りません

スプレーしても霧状に残らないので、室内を汚しません。ただし、ご使用時は、作業台に紙などを敷いてからスプレーしてください。



## ●用途

- 刺しゅうの裏材の仮止めに
- アップリケの仮止めに
- キルト芯の仮止めに
- パイピングテープの仮止めに
- その他、紙や布などの仮止めに

## ●使用方法と注意

- 1.缶上に記載されている「安全上の注意」をよくお読みください。
- 2.あらかじめ、作業台に紙などを敷いてからスプレーしてください。念のため、スプレー前に仮止めする布の目立たないところで試し噴きをしてください。布のしわなどを伸ばす場合は、先にアイロンかけをします。
- 3.スプレーする前に、缶をよく振ってください。このとき、缶を逆さにして使用しないでください。
- 4.仮止めしたい布などの接着面を上にして置いてください。大きさの違うものを張り合わせる時は、小さいほうにスプレーします。
- 5.接着面より30cm離して、軽く数回押しながらスプレーしてください。このとき、一度に長く押さず、軽く数回押しながらスプレーします。
- 6.スプレー後、数秒おいてから、もう一方の仮止めしたい布などに手で強く押しつけて貼ってください。貼り付けた位置を間違えた場合、スプレー後15～20分の間は、はがして貼り直すことができます。
- 7.使用後のスプレーボンド505は、噴射口を拭いてキャップをしめて保管してください。
- 8.高所からの落下に対し、容器が変形し中の溶剤が吹き出る場合がありますので、容器の落下には十分ご注意ください。

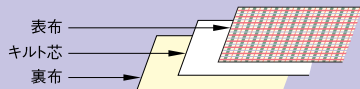


## ●上手にお使いいただくために

スプレーボンド505の3つの使用例をご紹介します。

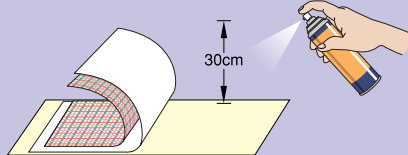
### 使用例1 パッチワーク&キルティング

- 1 表布、キルト芯、裏布を用意します。



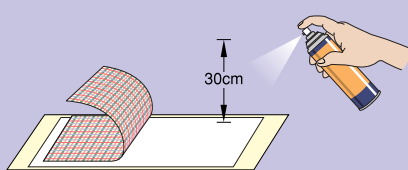
- 2 「使用方法と注意」をよくお読みください。

- 3 裏布の裏面へスプレーします。

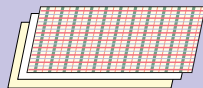


- 4 キルト芯を手で押しつけ、  
裏布とキルト芯を張り合わせます。

- 5 キルト芯の上側の面にスプレーします。



- 6 表布を手で押しつけ、キルト芯と  
表布を張り合わせます。

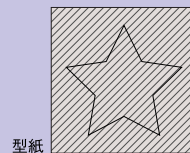


- 7 ミシンまたは手で縫います。

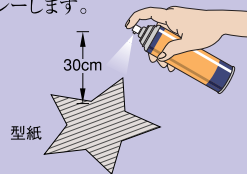
### 使用例3 アップリケ

- 1 「使用方法と注意」をよくお読みください。

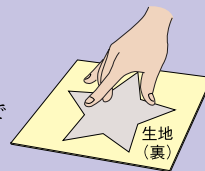
- 2 型紙にする紙に型を描きます。



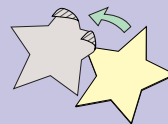
- 3 型を切り抜き、でき上がった型紙の表面に  
薄くスプレーします。



- 4 アップリケにする生地（裏）の裏面に型紙を手で  
押しつけ、貼ります。

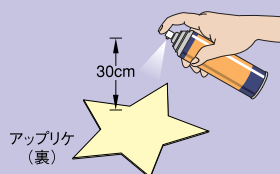


- 5 型紙に沿ってアップリケにする生地を切り抜きます。

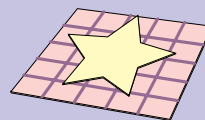


- 6 型紙をアップリケからはがします。

- 7 アップリケの裏面にスプレーします。



- 8 地となる生地（裏）にアップリケを手で押しつけ、  
貼ります。



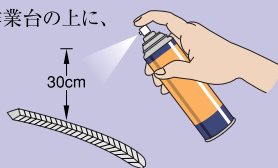
- 9 ミシンまたは手で縫います。

### 使用例2 ステンドグラスキルト

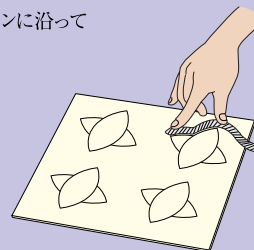
- 1 「使用方法と注意」をよくお読みください。

- 2 地になる生地（裏）にパターンを描いておきます。

- 3 紙などを敷いた作業台の上に、  
バイアステープの  
接着させる面を  
上にして置き、  
スプレーします。



- 4 スプレーしたバイアステープをパターンに沿って  
手で押しつけ、貼ります。



- 5 ミシンまたは手で縫います。